

令和5年度 第2回清瀬市子ども・子育て会議 議事要旨

日 時 令和6年1月17日（水）

場 所 清瀬市しあわせ未来センター セミナールーム

委 員 9名（欠席2名 内野委員、岩澤委員）

事務局 子ども子育て担当部長、子育て支援課長、保育・幼稚園係長、生涯学習スポーツ課長、
児童青少年係長、子ども家庭支援センター係長

1. 開会

事務局

子ども子育て担当部長あいさつ

資料確認

委員自己紹介

事務局紹介

子ども・子育て会議の委員の定足数を満たしている旨報告

清瀬市子ども・子育て会議設置条例第6条により委員長を推薦により選出

2. 議題

委員長

議題の「前回会議振り返り（資料2）」について、事務局から説明願う。

事務局

「資料2 令和5年度第1回会議への意見」について所管課説明。

委員長

第1回会議への意見について質問はあるか。

委員

「地域子育て支援コーディネーター」については、意見の内容と市の捉え方が少し違うと思う。支援が必要な家庭に駆けつけて、地域の子育て支援コーディネーターができる人が必要。

事務局

専任で子育て支援コーディネーターは現状置いていないので、今後こういった手法を取るか検討していきたい。

委員

「こども誰でも通園制度（仮称）」の対象となる0歳児を幼稚園で受け入れるのは難しいのではない

か。

委員

色々なご家庭がある中で「こども誰でも通園制度（仮称）」の実施はかなりの課題があると認識している。

委員長

この辺りは、本日の議題（４）と関わってくるので後程、検討を重ねたい。

委員長

清瀬市しあわせ未来センターが開設されて、半年以上経過したが状況はいかがか。

事務局

利用者への案内が物理的にしやすくなったのはメリットだと思われるが、まだ縦割りになっている部分があるので解消をすすめていきたい。

委員長

子育て相談の窓口のフロアが同じだともっと良かった。

今後の子ども子育て会議のため、事務局の方の担当が分かる名簿も欲しい。

委員長

次の議題「清瀬市立第７保育園の閉園後の方向性」について、事務局から説明願う。

事務局

「資料３ 清瀬市立第７保育園の閉園後の方向性」について説明。

委員

保育園での病児保育は、隔離するのも相当に神経を使うので難しい。また、利用も伸びているわけではなく、今ある病児保育室の充実を図ったほうが良いのではないか。

委員長

代替施設をどんなふうに展開するかといった検討は、どのような進め方をしていくのか。

事務局

今回の会議の場で出た意見を基に検討し、次回の会議で説明したい。４月頃にはプロポーザルを実施したい。

事務局

第7保育園の閉園が延期となっている。これまでも閉園と同時に代替施設を開設するという方向で準備が進められている。

委員

病児保育をおこなうには「病児保育士」という資格も必要。慎重に検討が必要。

委員長

こちらの資料については検討を続けるということの承認でよいか。

委員

零歳児の受け入れをしない点について聞きたい。

事務局

この地域での零歳児の保育需要が少ないことによる。

委員長

次の議題「こども計画の策定について」について、事務局から説明願う。

事務局

資料5 こども計画策定について について説明。

委員

保育施設の充実について、学童の待機児童問題も含まれるのか。

事務局

学童も含まれる。

委員

子ども・子育て支援総合計画について、上位の計画に内包されるようだがそれを子ども・子育て会議で審議するのか。

委員長

並行して作成するのか上位計画に含まれる形で策定するのか策定過程を検討したい。

委員

子ども・子育て会議は計画を策定する機関ではないので、新計画を策定する場合は役割を精査して欲しい。

委員長

子ども・子育て会議の委員が参加することは必要だが、別の組織体で検討するのかそういった方向性を検討したい。部会のような形はできないだろうか

事務局

子ども・子育て会議委員を中心として市長部局、教育委員会等が参加した拡大した組織体で策定を進めると良いのではないかと想定している。

委員長

拡大版の「子ども・子育て会議」ということで良いだろうか。

委員

切れ目のない子育て支援を考えるのであれば、さきほどの話のように拡大版として「子ども・子育て会議」として運営していただくと子育て支援の連携のしくみづくりにもつながるのではないだろうか。

委員

これまでは子ども中心とはいっても、縦割りで施策が多かったので横のつながりが生まれるのは良いことだと思う。多方面からの視点が入ると良い。

委員

学校が参加することについて、学校側も連携を求めているのではないか。一人の子どもを学校だけでは育てられない、家庭だけでも、地域だけでも、というのは同じ。横のつながりは非常に大事なこと。

委員

清瀬市では学校ごとに取り組み方はさまざまだと思う。校長先生によってかなり違うとを感じる。

委員

長期総合計画では専門部会があって内容に特化してヒアリングなども行っているようだ。こども計画策定時にもそのような形があっても良いのではないか。

委員長

どのような組織・委員にしていくのかというのは現状の課題を浮き彫りにしないと見えてこない。課題の解決に向けて専門的な意見を求めることが良い。課題の洗い出しをまずは行うことが必要。

3. その他

委員長

その他について、事務局から説明願う。

事務局

資料6 きよせ おうちで保育ラク家事サポート事業 利用者アンケート について説明。

委員長

このアンケート結果について、ぜひ活用したい。

アンケートの内容についての意見は事務局に。

以上